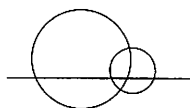


## 〈史料紹介〉



## 愛知大学文学部史学科・哲学科増設認可申請書

大学史事務室 佃隆一郎

現在、「人文社会学科」一本のもとで14の専攻が設けられている、本愛知大学の文学部では、2011（平成23）年度から入学時6コース、2年次以降15（初年度は14）専攻制への再編成がスタートし、文・史・哲・社会の各学科（およびそれぞれの各専攻）に分かれていた2004年度までとはいっそう様変わりすることになる。

それとともに、学科分立時代に入學した各文学部生は、2012年には原則在学しなくなることから、同年に名古屋笹島地区への進出を控える愛知大学は、豊橋に残ることになる文学部にとってもひとつの転換期を迎えているといえよう。そこで、歴史的な存在となる文学部各学科は何年に設置されたのかという点を見れば、新制大学移行時の1949（昭和24）年にまず社会学科が、次いで翌50年に文学部が設置され、少し間を置いた1956（昭和31）年に史学科が、続いて58年に哲学科が増設されている（1956年には文学専攻科も設置されたが、91年の大学院文学研究科設置

にともない翌年廃止）。

このうち社会学科と文学部の設置認可申請書について、前者（新制大学の一部として）を1997年刊行の『愛知大学五十年史 資料編』に、後者を2008年刊行の『愛知大学史研究』第2号にそれぞれほぼ全文を収録し、参考に呈していることから、今回はさらに1955年3月作製の「愛知大学文学部史学科増設認可申請書」および、1957年9月作製の「…文学部哲学科増設認可申請書」のやはりそれぞれの主要部分を掲載する。両学科の設置当時の科目や担当教員、それに東亜同文書院関連の教員の顔ぶれなどをうかがい知ることによって、既出分と併せて創設期の様相を示す資料となりうれば幸いである。

なお、この原文は大部分が縦書きで記されているが、入力や閲覧の際の便宜上すべて横書きに改め、それにともない漢数字も多くを算用数字に置き換えたことを了承されたい。文中の注記は〔 〕内に表示した。

## A. 愛知大学文学部史学科増設認可申請書

1955 (昭和 30) 年 9 月 30 日

〔表紙〕

昭和三十年九月三十日

愛知大学文学部史学科増設認可申請書  
学校法人 愛知大学

〔認可書 (原文も横書き)〕

校大第 57 号  
昭和 31 年 3 月 31 日

学校法人

愛知大学理事長 殿

文部事務次官

田 中 義 男 公印

大学学科増設及び定員変更について

昭和 30 年 9 月 30 日付で申請のあった愛知大学学科増設及び定員変更のことは、さしつかえないことになりました。よつて下記事項については、遺漏のないよう実施願います。

記

	入学定員	総定員
1. 増設する学科 文学部中史学科	40 名	160 名
定員変更する学科		
文学部中社会学科	40 名	160 名
文学部中文学科	70 名	280 名

2. 位 置 愛知県豊橋市町畑町

3. 修業年限 4 年

4. 開設年次 第 1 年次、第 2 年次、第 3 年次

5. 開設時期 昭和 31 年度

6. 共通条件

- (1) 新たに学科 (専攻を含む。) を増設し、又は既設の学部学科 (専攻を含む。)、学生定員を変更しようとする場合は、当分の間文部大臣に協議すること。
- (2) 教員組織については、これが充実にいたるまで、当分の間文部大臣に協議すること。

以上大学の目的使命を達成するため、必要な整備拡充を行うこと。

なお、教員組織、学科履修方法、施設、設備その他について報告を求め、必要がある場合には、文部大臣として審査し、変更を求めることがある。

〔この行  
書込み〕

## 〔申請書〕

愛知大学文学部史学科増設認可申請書

このたび愛知大学文学部史学科を増設

〔この行  
書込み〕

し既設の社会学科・文学科の学生定員を変更いた

したいと思いますから学校教育法第四条の規定によつて、ご認可下さるよう別紙書類を添えて申請いたします。

昭和三十年九月三十日

設置者

学校法人

愛知大学

理事長

本間喜一

文部大臣 松村謙三 殿

## 〔目次〕

## 書類目次

一、愛知大学文学部史学科増設要項	1 頁
二、学 則	10 頁
三、校 地 (図面添付)	41 頁
四、校舎等建物 (図面添付)	42 頁
五、図書標本機械器具等施設概要	47 頁
六、学部及び学科別学科目又は講座	51 頁
七、修業年限履修方法及び学士号	55 頁
八、学部及び学科別学生定員	58 頁
九、職員組織	61 頁
十、設置者に関する調	71 頁
十一、資 産	99 頁
十二、維持経営の方法	118 頁
十三、現在設置している学校の現況	158 頁
十四、将来の計画	218 頁

## 〔申請補足書 (原文縦書き)〕

このたび愛知大学文学部史学科認可申請に関し別紙の様に第一設置要項を補足訂正提出致します

設置者

学校法人

愛知大学

理事長

本間喜一



〔この行  
書込み〕 昭和三十年十二月六日

文部大臣  
清瀬一郎 殿

〔本文〕

第一 愛知大学文学部史学科増設要項

一、目的及び使命

本学の学則第一条の精神に則り、歴史学を研修し、歴史に対する深い認識と教養とを以て社会に貢献せんとする人材を養成するため、文学部に史学科を増設するものである。

二、名 称

愛知大学文学部史学科

三、位 置

豊橋市町畑町

四、校 地

総坪数 48,624 坪  
専 用  
共 用 48,624 坪 既設法経学部、文学部 共用

五、校 舎

総坪数 5,790 坪  
専 用 161.5 坪 史学科専用教室及び研究室  
共 用 5,628.5 坪 既設法経学部及び文学部他学科と共用

〔この項、  
数値を  
一部訂正〕

六、図書標本機械器具等施設概要

図 書	総数	和書	88,540 冊	
		洋書	27,857 冊	豊橋本校・名古屋〔車道〕校舎合計
	専用	和書	6,211 冊	(史学関係のみ)
		洋書	810 冊	(史学関係のみ) 豊橋本校
学術雑誌	和書	25 冊	(史学関係のみ)	
		洋書	5 冊	(史学関係のみ) 豊橋本校
	共用	和書	82,329 冊	
		洋書	27,047 冊	法経学部、文学部他学科と共用
学術雑誌	和書	227 冊		
		洋書	116 冊	法経学部、文学部他学科と共用

標 本	総数	6,449 点	
	専用	520 点	史学科関係
	共用	5,929 点	一般教育用既設
機械器具	総数	3,522 点	
	専用	3,011 点	
	共用	511 点	一般教育用既設

その他の施設 電灯水道の設備は学部設置認可当時と同様、又はそれ以上に充実す

## 七、学部及び学科の組織並に附属施設

文学部、史学科

参考

現在設置せる学部及び学科組織

法経学部	法学科、経済学科
文学部	文学科、社会学科
大学院	法学、経済学研究科

## 八、学部及び学科別科目又は講座概要並に教職課程の有無

一般教育科目		既設の他学科と同様に付き省略 学科目等は学則参照
人文科学関係		
社会科学関係		
自然科学関係		
外国語		
体育		
計	84	

## 専門科目

必修科目A系列

学 科 目	単位数	備 考
史学概論	4	
日本史概説	4	
東洋史概説	4	
西洋史概説	4	
世界史	4	
考古学概説	4	
卒業論文	8	
計	32	

必修科目B系列（日本史を主とするもの）

学 科 目	単位数	備 考
日本史特殊講義 一部	4	
全 二部	4	
全 三部	4	
日本史演習及講読一部	2	
全 二部	2	
計	16	

必修科目C系列（東洋史を主とするもの）

学 科 目	単位数	備 考
東洋史特殊講義一部	4	
全 二部	4	
全 三部	4	
東洋史演習及講読一部	2	
全 二部	2	
計	16	

選択科目

学 科 目	単位数	備 考
人文地理学	4	
日本考古学	4	
東洋考古学	4	
社 会 史	4	
社会思想史	4	
中国哲学史	4	
日本思想史	4	
日本文学史	4	
中国語学概説	4	
中国古文講読	4	
計	40	

備 考

○必修科目中、日本史を主とするものはA・B系列を、東洋史を主とするのはA・C系列を、夫々12科目48単位履修すべきものとする。

選択科目中5科目20単位以上を履修するものとする。

○一般教育科目、外国語、体育については、他学部学科と共通 計56単位を履修する。

九、修業年限履修の方法及び学士号

凡てについて文学部既設の他学科と同一に付き省略

十、職員組織〔原文を組み替え〕

		学 長	教 員	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	技 術 員	事 務 員
専 任	第1年次	1		4	1		6	2		50
	第2年次							1		
	第3年次									
	第4年次									
	計	1		4	1		6	3		50

		学 長	教 員	教 授	助教授	講 師	計	助 手	技術員	事務員
兼 担	第1年次			3			3			
	第2年次			3			3			
	第3年次									
	第4年次									
	計			6			6			
兼 任	第1年次					3	3			
	第2年次					1	1			
	第3年次									
	第4年次									
	計					4	4			
計	第1年次	1		7	1	3	12	2		50
	第2年次			3		1	4	1		
	第3年次									
	第4年次									
	計	1		10	1	4	16	3		50

## 十一、学部及び学科別学生入学定員、総定員

文学部史学科 定員 40名 備考 文学部社会学科 400名  
 総定員 160名 文学部 200名 現行総定員  
 文学部社会学科 160名  
 文学部 280名 と変更する。  
 史学科 160名

右〔上〕の様変更し文学部の総定員数増減なし。

## 十二、設 置 者

学校法人愛知大学 理事長 本 間 喜 一

## 十三、維持経営の方法概要

学生の入学金、授業料、受験料等により維持経営す。既に設置せる文学部他  
 学科に同じ

## 十四、開設の時期

昭和31年4月

## 十五、開 設 年 次

第一、第二、第三、年次

現在本学の教養課程の学生を進学させる。原則として他校よりの転入学は認  
 めない。

## 十六、併設学校及び附置研究所の概要

豊橋本校 法経学部 法学科、経済学科  
 文学部 文学部 文学部、社会学科  
 短期大学部 夜間法経学科、文学部  
 大学院 法学研究科、経済学研究科



文学部は新たに史学科を設置せんとする

名古屋分校 短期大学部の設あるも、31年度より募集を停止し、在校生の卒業をまつて廃止する。又、30年度より新たに法経学部第二部を設置せんとする。

第二 学 則

愛知大学学則変更

新旧比較対照表〔○が変更箇所〕

改 正 條 文	旧 條 文
<p>第二條 本大学に次の学部及び学科を置く。</p> <p>法経学部 法 学 科                   経済学科</p> <p>文 学 部 社会学科                   文 学 科                   ○史 学 科</p>	<p>第二條 本大学に次の学部及び学科を置く。</p> <p>法経学部 法 学 科                   経済学科</p> <p>文 学 部 社会学科                   文 学 科</p>
<p>第六條 学生所属の学科により夫々次の単位数の科目を履修しなければならない〔。〕</p> <p>○ 講義科目又は演習は特別の定めある場合の外は毎週1時間15週の授業を1単位とする。</p> <p>○ 実験又は実習は毎週3時間15週の授業を1単位とする。</p> <p>○ 数学の演習又はこれに類する演習は毎週2時間15週の演習をもつて1単位とする。</p> <p>○ 外国語の単位の計算については前項の数学の項を準用する。</p>	<p>第六條 学生所属の学科により夫々次の単位数の科目を履修しなければならない。</p>
<p>三、専門科目</p> <p>法経学部 法 学 科 以下略                   経済学科 〃</p> <p>文学部 社会学科 〃                   文 学 科</p> <p>(日本史〔国文学の誤り〕専攻) 必修 10科目40単位以上 選択 5科目20単位以上</p> <p>(中国文学専攻) 右〔上〕に全じ 省略</p> <p>(英文学専攻) 右〔上〕に全じ 省略</p> <p>(ドイツ文学専攻) 右〔上〕に全じ 省略</p> <p>(フランス文学専攻) 右〔上〕に全じ 省略</p>	<p>三、専門科目</p> <p>法経学部 省略</p> <p>文学部 社会学科 省略                   文 学 科</p> <p>(日本史〔国文学の誤り〕専攻) 必修 10科目40単位以上 選択 5科目20単位以上</p> <p>(中国文学専攻) 右〔上〕に全じ 省略</p> <p>(英文学専攻) 右〔上〕に全じ 省略</p> <p>(ドイツ文学専攻) 右〔上〕に全じ 省略</p> <p>(フランス文学専攻) 右〔上〕に全じ 省略</p>



○史学科

(日本史専攻)

必修 10科目 40単位以上

選択 5科目 20単位以上

(東洋史専攻)

必修 10科目 40単位以上

選択 5科目 20単位以上

第三十三條 学部の学生定員は次の通りである。

法経学部

法学科 800名

経済学科 400名

文学部

社会学科 400名

文学科 200名

〔○〕史学科 200名

第三十三條 学部の学生定員は次の通りである。

法経学部

法学科 800名

経済学科 400名

文学部

社会学科 400名

文学科 200名

学 則〔略〕

学 科 目 表

一般教育科目 各学部各学科共通

学 科 目	単位数	備 考	
人文科学関係			
哲 学	4	哲学史を含む	
倫 理 学	4		
論 理 学	4		
日本史三部	4		
東洋史一部	4		
西洋史二部	4		
人文地理学	4		
文学 一部	4		
文学 二部	4		
文学 三部	4		
文学 四部	4		
社会科学関係			
社会科学概論	4		憲法2単位を含む
法 学	4		
政 治 学	4		
経 済 学	4		
社 会 学	4		



学 科 目	単位数	備 考
自然科学関係		
自然科学概論	4	物理学を含む
数        学	4	
生 物 学	4	
化        学	4	
外 国 語		
外国語一部	8	
" " 二部	8	

備 考 一般教育科目については外国語一部、二部は必修、その他人文科学関係、社会科学関係、自然科学関係の三系列に亘って夫々3科目以上、外国語一部、二部と合せて合計11科目52単位以上を履修する。

体 育 各学部各学科共通

学 科 目	単位数	備 考
講 義	2	
実 技	2	

備 考 体育については2科目4単位を必修する。

法経学部法学科

専門科目

学 科 目	単位数	備 考
必修(選択)科目		
憲        法	4	
行政法一部	4	
" " 二部	4	
国際法一部	4	
" " 二部	4	
刑        法	4	
民法一部	4	
" " 二部	4	
" " 三部	4	
" " 四部	4	
商法一部	4	
" " 二部	4	
社 会 法	4	
政治学原論	4	
政 治 史	4	
政治思想史	4	

学 科 目	単位数	備 考
国際政治史	4	
社会思想史	4	
演 習	4	
外国書研究	2	
卒業論文	2	
選 択 科 目		
法 哲 学	4	
法制史一部	4	
法制史二部	4	
比 較 法	4	
民事訴訟法	4	
刑事訴訟法	4	
破 産 法	4	
法思想史	4	} 法律学特殊講義
無体財産権論	4	
国際条約論	4	
行 政 学	4	
地方自治論	4	
国際私法	4	
東洋外交史	4	政治学特殊講義
経済原論一部	4	
” ” 二部	4	
財 政 学	4	
経済政策	4	
社会政策	4	
労働問題	4	
国際政経事情一部	4	
” 二部	4	
” 三部	4	
” 四部	4	
新 聞 学	4	
外国書研究	4	
演 習	4	

備 考 必修科目中、外国書研究、演習、卒業論文を含めて13科目合計48単位を履修する。

選択科目中、6科目24単位を選ぶ

なお必修科目中必修科目として選択するもの以外を選択科目として選ぶことが出来る。

法經学部經濟学科

專門科目

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
經濟原論一部	4	
經濟原論二部	4	
經濟史	4	
經濟学史	4	
財政学	4	
統計学	4	
經濟学一部	4	
貨幣金融論	4	
經濟政策	4	
銀行論	4	
現代經濟理論	4	
演習	4	
外国書研究	2	
卒業論文	2	
選択科目		
各国經濟史	4	
經濟地理	4	
世界經濟論	4	
國際金融論	4	
經營学二部	4	
會計学一部	4	
簿記学	4	
商業学	4	
社会政策	4	
商工政策	4	
農業政策	4	
労働問題	4	
協同組合論	4	
産業開發論	4	
工業經濟論	4	} 經濟学特殊講義
金融資本論	4	
景気変動論	4	
公企業論	4	經營学特殊講義
會計学二部	4	
保險論	4	

学 科 目	単位数	備 考
国際政経事情一部	4	
国際政経事情二部	4	
” 三部	4	
” 四部	4	
行政法一部	4	
民法一部	4	
” 二部	4	
” 三部	4	
” 四部	4	
商法一部	4	
” 二部	4	
社会法	4	
政治学原論	4	
社会思想史	4	
外国書研究	4	
新聞学	4	
職業指導	2	
演 習	4	

備 考 選択科目については6科目24単位以上を選ぶ。

教職課程（二十単位以上を選ぶ）

必 修 科 目	単位数	選 択 科 目	単位数
教育心理学	3	教育史	4
青年心理学	3	教育社会学	4
教育原理	3	児童心理学	4
教科教育法	3	図書館学	4
教育実習	3	社会教育論	4

註 法経学部の教職課程については爾後更めて申請する。

文学部社会学科

専門科目

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
社会学概論	4	
社会学史	4	
社会学特殊講義	8	
社会学演習	8	



学 科 目	単位数	備 考
社会調査	4	
教育社会学	4	
社会心理学	4	
社会人類学	4	
卒業論文	8	
選 択 科 目		
哲 学	4	
哲 学 史	4	
中国哲学史	4	
倫 理 学	4	
宗 教 学	4	
教 育 学	4	
新 聞 学	4	
統 計 学	4	
社会事業論	4	
社会教育論	4	
社会政策	4	
社会思想史	4	
社 会 史	4	
外 国 史	4	
言 語 学	4	
考 古 学	4	
人文地理学	4	

備 考 選択科目については5科目20単位以上を履修する。

文学部文学科

専門科目

(A) 国文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必 修 科 目		
国文学概論	4	
国文学史	4	
国文学特殊講義	4	
国文学講読	8	
国語学概論	4	
国文学演習	4	
国語学史	4	
文学概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

## (B) 中国文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
中国文学概論	4	
中国文学特殊講義	4	
中国古文講読	4	
中国文学演習	4	
中国語学概論	4	
中国語学講読	4	
中国哲学史	4	
文学概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

## (C) 英文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
英文学概論	4	
英文学史	4	
英文学特殊講義	4	
英文学講読	4	
英文学演習	4	
英語学概論	4	
英語史	4	
英文法概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

## (D) ドイツ文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
ドイツ文学概論	4	
ドイツ文学史	4	
ドイツ文学講読	4	
ドイツ文学演習	4	
独文学特殊講義	4	
ドイツ語学概論	4	
ドイツ語史	4	
ドイツ語学講読	4	
文学概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

(E) フランス文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
フランス文学概論	4	
フランス文学史	4	
仏文学特殊講義	4	
フランス文学講読	4	
フランス文学演習	4	
フランス語学概論	4	
フランス語史	4	
フランス語学講読	4	
文学概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

選択科目 (文学科各専攻共通)

学 科 目	単位数	備 考
哲 学	4	
哲 学 史	4	
宗 教 学	4	
外 国 史	4	
芸 術 史	4	
考 古 学	4	
現代文学論	4	
現代詩論	4	
映画演劇論	4	
ロシア文学	4	
新 聞 学	4	
図 書 館 学	4	
教育社会学	4	

備 考 5科目 20単位以上を履修する。

尚他専攻必修科目をも選択科目として履修することができる。

文学部史学科

必修科目 A 系列

学 科 目	単位数	備 考
史学概論	4	
日本史概説	4	
東洋史概説	4	
西洋史概説	4	
世界史	4	



学 科 目	単位数	備 考
考古学概説	4	
卒業論文	8	
計	32	

## 必修科目B系列（日本史を主とするもの）

学 科 目	単位数	備 考
日本史特殊講義一部	4	
全 二部	4	
全 三部	4	
日本史演習及講読一部	2	
全 二部	2	
計	16	

## 必修科目C系列（東洋史を主とするもの）

学 科 目	単位数	備 考
東洋史特殊講義一部	4	
全 二部	4	
全 三部	4	
東洋史演習及講読一部	2	
全 二部	2	
計	16	

## 選択科目

学 科 名 <sup>(177)</sup>	単位数	備 考
人文地理学	4	
日本考古学	4	
東洋考古学	4	
社 会 史 <sup>(177)</sup>	4	
社界思想史	4	
中国哲学史	4	
日本思想史	4	
日本文学史	4	
中国語学概説	4	
中国古文講読	4	
計	40	

## 備 考

- 必修科目中、日本史を主とするものはA・B系列を、東洋史を主とするものはA・C系列を、夫々12科目48単位履修すべきものとする。  
選択科目中5科目20単位以上を履修するものとする。
- 一般教育科目、外国語、体育については、他学部学科と共通、計56単位を履修する。

体 育 (各学部各学科共通)

学 科 目	単位数	備 考
講 義	2	
実 技	2	

備 考 体育については2科目4単位を必修とする。

教職課程

必 修 科 目	単位数	選 択 科 目	単位数
教 育 心 理 学	3	教 育 史	4
青 年 心 理 学	3	教 育 社 会 学	4
教 育 原 理	3	図 書 館 学	4
教 科 教 育 法	3	社 会 教 育 論	4
教 育 実 習	3	児 童 心 理 学	4

註 文学部の教職課程については爾後更めて申請する。

第三 校 地 (添付図面略)

種 別	専 用	共 用	計	所 在 地	備 考
校舎敷地		5,950坪	5,950坪	豊橋市町畑町	既設の法経学部及文学部、文学科、社会学科と共用
運 動 場		15,000 "	15,000 "	"	"
自然科学標本園		1,500 "	1,500 "	"	"
其 の 他		26,174 "	26,174 "	"	"
計		48,624 "	48,624 "		

第四 校舎等建物 (添付図面略)

第一表

種 別	専 用	共 用	計	建物様式	室 数	備 考
本 館	坪	769坪. 00	769坪. 00	木造二階建	55	4教室70坪を新に増設
一 号 館		515.00	515.00	"	25	
二 号 館		91.00	91.00	"	3	
三 号 館		78.70	78.70	木造平家 <sup>(マ)</sup>	2	
四 号 館		156.00	156.00	"	3	
五 号 館		72.00	72.00	"	5	
六 号 館		224.25	224.25	"	9	
七 号 館		224.25	224.25	木造二階建	6	
八 号 館		326.50	326.50	"	26	
九 号 館		123.50	123.50	"	3	
十 号 館		146.25	146.25	木造平屋	9	
講 堂		234.80	234.80	木造鉄骨家屋	4	
図 書 館		192.25	192.25	木造平屋	25	
大 学 院		320.00	320.00	"	21	
会 議 室		36.25	36.25	"	2	
第一寄宿舍		320.00	320.00	木造平家 <sup>(マ)</sup>	30	
第二寄宿舍		344.00	344.00	"	30	
炊 事 場		318.50	318.50	煉瓦建平屋	32	
体 育 館		136.00	136.00	木造平屋	6	
学生集会場 <sup>(マ)</sup>		60.00	60.00	"	2	
書 庫		42.00	42.00	"	2	
倉 庫		68.00	68.00	"	4	
其の他31棟		991.75	991.75	木造其他		
計		5,790坪. 00	5,790.00			

第二表 別添図面参照

種 別	専用共用の別	室 名	坪 数	用 途	収容人員	室 数	総坪数	備 考
本 館	共 用	学 長 室	16坪. 50			2	508坪.00	
	”	学 部 長 室	15.00/12.00			2		
	”	事 務 室	204.00			23		
	”	教 授 研 究 室	151.50			18		
	”	研 究 所	109.00			7		
一 号 館	”	其 の 他 室	261.00				261.00	史学科増設の為 今度増設せる教室 史学科増設の為内2室 は今増設せるもの
	”	教 室	80.00		480名	1	80.00	
	”	”	21.00		100名	2	42.00	
	”	”	28.00		130名	4	112.00	
	”	”	14.00		60名	6	84.00	
二 号 館	”	教 授 研 究 室	7.00			11	77.00	
	”	其 の 他 室					120.00	
	”	教 室	35.00		160名	1	35.00	
三 号 館	”	”	30.00		120名	1	30.00	
	”	其 の 他 室	26.00				26.00	
四 号 館	”	教 室	50.00		240名	1	50.00	
	”	”	25.00		100名	1	25.00	
五 号 館	”	其 の 他 室	3.70				3.70	
	”	教 室	72.00		320名	2	144.00	
六 号 館	”	其 の 他 室	12.00				12.00	
	”	教 室	42.00		150名	1	42.00	
七 号 館	”	研 究 室	7.50			4	30.00	
	”	教 室	62.50		360名	1	62.50	
八 号 館	”	”	30.00		120名	1	30.00	
	”	其 の 他 室	131.75				131.75	
九 号 館	”	教 室	62.50		360名	1	62.50	
	”	”	30.00		120名	1	30.00	
十 号 館	”	其 の 他 室	131.75				131.75	
	”	巡 視 室	7.00			2	7.00	
講 堂	”	学 生 会 館	319.50			24	319.50	
	”	教 室	35.00		130名	1	35.00	
図 書 館	”	”	32.50		120名	2	65.00	
	”	其 の 他	23.50				23.50	
大 学 院	”	自 然 科 学 教 室	52.50	実 験 室		1	52.50	
	”	”	40.00	生 物 学 教 室		1	40.00	
	”	”	53.75	準 備 室 其 他	準 備 室 其 他		53.75	
會 議 室	”	講 堂	234.80		1,200名		234.80	
	”	書 庫	37.50				37.50	
第 一 寄 宿 舎	”	閱 覧 室	84.50				84.50	
	”	其 の 他 室	70.25		事 務 室 其 他		70.25	
第 二 寄 宿 舎	”	研 究 室	28.00			2	56.00	
	”	”	14.00			10	140.00	
炊 事 場	”	”	7.00			5	35.00	
	”	事 務 室	7.00			2	14.00	
体 育 館	”	控 室	14.00			1	14.00	
	”	そ の 他 室	61.00				61.00	
学 生 集 会 所	”	集 会 室	36.25			1	36.25	
	”	学 生 寮	320.00			30	320.00	
書 庫	”	”	344.00			30	344.00	
	”	学 生 食 堂	318.50				318.50	
倉 庫	”	体 育 館	136.00			6	136.00	
	”	学 生 集 会 所	60.00				60.00	
其 の 他	”	書 庫	42.00			1	42.00	
	”	倉 庫	68.00				68.00	
計	共 用	其 の 他	991.75				991.75	
			5,790.00				5,790.00	

第五 図書標本機械器具等施設概要

一ノ一 図書

(貼付  
改訂)

	専用	共用	計	内訳	
				内国	外国
外国語 英	1,920	1,265	3,185	1,089	2,096
独	1,265	1,011	2,276	1,134	1,142
佛	1,033	1,101	2,134	425	1,709
露	1,126	1,038	2,164	582	1,582
華	1,277	1,212	2,489	538	1,951
計	6,621	5,627	12,248	3,768	8,480

種 別	専用	共用	計	内 訳		備考
				内国書	外国書	
一般教育科目						
人文科学関係	2,775	2,004	4,779	3,396	1,383	
社会科学関係	2,825	1,022	3,847	2,617	1,230	
自然科学関係	1,290	1,165	2,455	1,748	707	
外国語関係	6,621	5,627	12,248	3,768	8,480	
体育関係	346	350	696	595	101	
計	13,857	10,168	24,025	12,124	11,901	
専門図書						
法政学関係	12,840	10,235	23,025 <sup>{ママ}</sup>	20,112	2,963	
経済学関係	13,635	12,361	25,996	21,175	4,821	
社会学関係	18,623	960	15,583 <sup>{ママ}</sup>	18,015	1,568	
文学関係	15,647	920	16,567	11,354	5,213	
史学関係	7,021 <sup>{ママ}</sup>	30	7,151	5,760	1,391	
計	67,766	24,606	92,372	76,416	15,956	
(貼付終) 合 計	81,623	34,774	116,397	88,540	27,857	

## 一ノ二 学術雑誌目録

一般教養関係は既設に付省略

## 1. 内国雑誌〔実際は外国雑誌を含む〕

名 称	発 行 年 次	種 類	部 類	備 考
日本史研究	第2号(昭21)～第5号(昭22)		3	
歴史学研究	第7号(昭10)～第185号(昭30)		165	
歴史評論	第14号(昭23)～第18号(昭30)		75	
史学雑史 <sup>(77)</sup>	第52編(昭16)～第64編(昭30)		117	
史 林	第28巻～第38巻(昭30)		28	
東北大学文学部研究事報	第3号(昭27)～第5号(昭29)		3	
東洋文化	第1号(昭25)～19号		17	
東洋史研究	第1巻(昭19)		10	
古代学	第1巻～第3巻		9	
自然と文化	第1巻～第5巻		5	
東方学報	東京第1冊～第14冊 京都第4冊～第15冊			
東洋学報	第23巻～38巻		67	
民族学研究	第11巻(昭21)～第18巻(昭30)		23	
東洋史研究	新第1巻～第14巻		20	
東方学	1号～10号		10	
東方学論叢			2	
アジア研究	1号～5号		5	
史 淵	28輯～65輯		29	
季刊中国研究	1948～1952		16	
宗教研究	日本宗教学校 <sup>(77)</sup>		22	
歴史教育	2巻～3巻		3	
印度学佛教学研究	1ノ1～3ノ2		6	
オリエンタリカ	東大東洋史研究会 <sup>(77)</sup>		1	
人文科学	京大人文学研究会 <sup>(77)</sup>		2	
社会経済史学	社会経済史学会 <sup>(77)</sup>		2	
東洋文科研究所紀要 <sup>(77)</sup>	1～7		7	
The eastern Buddhist.	Vol. 1～3		5	
The eastern quarterly.	Vol. 9～14		22	
American anthropologist.	Vol. 57 ('55)		1	

## 二ノ一 標 本

種 別	専用	共用	計	備 考
自然科学部門		6449	6449	法経学部、文学部 共用
計		6449	6449	

## 二ノ二 標本目録

既設教養部、一般教育用につき目録省略す

## 三ノ一 機械器具

種 別	専用	共用	計	備 考
自然科学部門	3,011点	511点	3,511点	
計	3,011点	511点	3,511点	

第六 学部及学科別学科目又は講座

〔貼付改訂〕	学部	学科	学科目又は講座	年次及び単位数					備考
				第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	計	
	文学部	史学科	一般教育科目 人文科学関係 社会科学関係 自然科学関係 外国語 体育	既設の他学科と同様に付き 省略					
			計	84	84	84	84	336	
			専門科目 必修科目A系列						
			史学概論	4		4		8	
			日本史概説	4		4		8	
			東洋史概説	4		4		8	
			西洋史概説		4		4	8	
			世界史	4		4		8	
			考古学概説	4		4		8	
			卒業論文		8	8	8	24	
			計	20	12	28	12	72	
			必修科目B系列 (日本史を主とするもの)					8	
			日本史特殊講義一部	4		4		8	
			全 二部	4	4	4		8	
			全 三部				4	8	
			日本史演習及講読一部	2	2	2	2	8	
			全 二部	2	2	2	2	8	
			計	12	8	12	8	40	
			必修科目C系列 (東洋史を主とするもの)						
			東洋史特殊講義一部	4		4		8	
			全 二部	4		4		8	
			全 三部		4		4	8	
			東洋史演習及講読一部	2	2	2	2	8	
			全 二部	2	2	2	2	8	
			計	12	8	12	8	40	
			選択科目(両専攻共通)						
			人文地理学		4		4	8	
			日本考古学	4		4		8	
			東洋考古学	4		4		8	
			社会史		4		4	8	
			社会思想史	4		4		8	
			中国哲学史	4		4		8	
			日本思想史		4		4	8	
			日本文学史		4		4	8	
			中国語学概説	4		4		8	
			中国古文講読	4		4		8	
			計	24	16	24	16	80	
			専門科目 合計	80	56	96	56	288	
			総合計	164	140	180	140	624	

〔貼付改訂〕 備考

- 必修科目中、日本史を主とするものはA・B系列を、東洋史を主とするものはA・C系列を、夫々12科目48単位履修すべきものとする。
- 選択科目中5科目20単位以上を履修するものとする。

〔貼付終〕 ○一般教育科目、外国語、体育については、他学部学科と共通 計 56 単位を履修する。

### 第七 修業年限履修方法及学士号

一、修業年限履修方法及学士号については、既設他学科（文学部社会科学、文学科）と同一につき省略

〔改訂〕四、内訳、一般教養部は既設の他学科と同様につき省略

〔貼付改訂〕	学部	学科	学科目又は講座	必修 単位数	選択 単位数	備 考
	文学部	史学科	専門科目			
			必修科目 A 系列			
			史学概論	4		
			日本史概説	4		
			東洋史概説	4		
			西洋史概説	4		
			世界史	4		
			考古学概説	4		
			卒業論文	8		
			必修科目 B 系列			
			(日本史を主とするもの)			
			日本史特殊講義一部	4		日本史を主とするものは A・B 系列を、東洋史を主とするものは A・C 系列を夫々 12 科目 48 単位履修すべきものとする。
			全 二部	4		
			全 三部	4		
			日本史演習及講読一部	8		
			日本史演習及講読二部	8		
			必修科目 C 系列			
			(東洋史を主とするもの)			
			東洋史特殊講義一部	4		
			全 二部	4		
			全 三部	4		
			東洋史演習及講読一部	8		
			全 二部	8		
			〔選択科目 (両専攻共通)〕			
			人文地理学		4	5 科目 20 単位を選択する
			日本考古学		4	
			東洋考古学		4	
			社会史		4	
			社会思想史		4	
			中国哲学史		4	
			日本思想史		4	
			日本文学史		4	
			中国語学概説		4	
			中国古文講読		4	
			計	100	40	

### 第八 学部及学科別定員

一、学部及学科別学生入学定員

文学部 史学科 定員 40 名



二、学部及学科別学生総定員

文学部 史学科 160名

参 考

現在設置している学部学生の定員

法 経 学 部	入 学 定 員	総 定 員
法 学 科	200名	800名
経 済 学 科	100名	400名
文 学 部		
社 会 学 科	100名	400名
文 学 科	50名	200名

〔書込み〕 左〔下〕の様変更する（総定員増減なし）

社会学科	160
文学科	280
史学科	160
計	600

〔書込終〕

三、専門科目又は講座別学生収容定員

〔貼付改訂〕

学部	学科	専門科目又は講座	収容人員	備 考
文学部	史学科	必修科目A系列		
		史学概論	100名	
		日本史概説	50名	
		東洋史概説	50名	
		世界史	100名	
		考古学概説	100名	
		必修科目B系列		
		日本史特殊講義一部	100名	
		全 二部	50名	
		全 三部	50名	
		日本史演習及講読一部	100名	
		〔全〕 二部	100名	
		必修科目C系列		
		東洋史特殊講義一部	100名	
		全 二部	50名	
		全 三部	50名	
		東洋史演習及講読一部	100名	
		全 二部	100名	
		〔選択科目（両専攻共通）〕		
		人文地理学	100名	
		日本考古学	100名	
		東洋考古学	100名	
		社会史	100名	
社会思想史	100名			
中国哲学史	100名			
日本思想史	100名			
日本文学史	100名			
中国語学概説	100名			
中国古文講読	100名			

〔貼付終〕



第九 職員組織

一、職員総括表

	専任					兼担					兼任					計				
	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	計	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	計	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	計	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	計
学長	1				1											1				1
教員																				
教授	4				4	4	2			6						7	2			10
助教授	1				1											1				1
講師											3	4			7	3	4			7
計	6				6	4	2			6	3	4			7	12	6			19
助手	3				3															
技術員																				
事務員	50				50											50				50
その他	10				10											10				10
合計	69				69	4	2			6	3	4			7	72	6			82

〔注 各人数と計とで一部が一致しないのは、手書きにて人数を変更した箇所があるため〕

二、学部及学科別教員

〔貼付改訂〕	学部	学科	科目又は講座	教授				助教授				助手				講師				計	備考				
				専任	兼担	兼任	計	専任	兼担	兼任	計	専任	兼担	兼任	計	専任	兼担	兼任	計						
〔貼付終〕	文学部	史学科	専門科目																						
			必修科目A系列																						
			史学概論													1				1			1	2	
			日本史概説				1									1				1				2	
			東洋史概説					1															1	1	
			西洋史概説																					1	1
			世界史						1															1	1
			考古学概説						1															1	1
			卒業論文						1															1	1
			必修科目B系列																						
			日本史特殊講義一部							1															1
			全二部								1			1											1
			全三部																					1	1
			日本史演習及講読一部								1			1											2
			全二部								1			1											2
			必修科目C系列																						
			東洋史特殊講義一部													1			1						2
			全二部					1																	1
			全三部						1																1
			東洋史演習及講読一部								2			2											2
			全二部																						2
			選択科目																						
			人文地理学								1			1											1
日本考古学								1			1											1			
東洋考古学								1			1											1			
社会史																						1			
社会思想史								1			1											1			
中国哲学史								1			1											1			
日本思想史																						1			
日本文学史								1			1											1			
中国語学概説								1			1											1			
中国古文講読								1			1											1			
計								7			7											3			
合計								3	17		20	1	1		2							12			

三、学長並に学科別教員予定表

番号	一、(ママ)職名	一般教育 外国語 体育 専門科目 の別	専任 兼任 の別	本務の名称 並びに 担当学科目 又は講座	担当学科目 又は講座	最終卒業学校 学部学科名 及び卒業年月	学位 称号	著書及び 学術論文数	教歴	採用予定年月	月額 基本給	国籍本籍	性別	氏名 生年月日	備考	教員 個人 調冊 頁数
	学長 (教授)		専任			東京帝国大学 法科大学 大正4年5月		多数	46年		56,700	日本 山形縣	男	本間喜一 明治24年 7月15日		
1	講師	専門 科目 (史)	兼任	名古屋大学 西洋史	史学概論	京都帝国大学 大学院 昭和15年3月		14 其他 多数	18年	昭和31年 4月1日		日本 京都府	男	中山治一 明治44年 4月6日		1
2	教授	専門 科目 (史)	専任		日本史概説 日本史特殊講義 一部 日本史演習二部 日本史料(ママ) 講義一部	東京帝国大学 文学部 大学院 昭和11年3月		15	11年		31,200	日本 静岡県	男	鈴木泰山 明治40年 3月19日		2
3	助教授	専門 科目 (史)	専任		日本史特殊講義 日本史演習	東京大学 文学部 国史学科 昭和24年3月		5	6年	昭和31年4月	16,300	日本 東京都	男	歌川 学 大正14年 9月6日		3
4	講師	専門 科目 (史)	兼任	愛知学院大学 歴史学	日本史特殊講義 三部 日本史料(ママ) 講義二部	九州大学 大学院 昭和29年3月		8	1年	昭和31年4月		日本 静岡県	男	鈴木親彦 大正12年 11月10日		4
5	教授	専門 科目 (史)	兼任	教養部 倫理学 考古学 教育心理	考古学概説 東洋考古学	東京帝国大学 文学部 倫理学科 大正11年3月			18年		42,700	日本 三重縣	男	横山將三郎 明治30年 10月10日		5
6	教授	専門 科目 (史)	専任		東洋史概説 東洋史料(ママ) 講義	東京帝国大学 文学部 東洋史学科 昭和14年3月		14 其他 多数	1年		29,500	日本 愛知縣	男	鈴木中正 大正2年 2月25日		6
7	講師	専門 科目 (史)	兼任	愛知学芸大学 西洋史	西洋史概説	東京帝国大学 大学院 昭和25年3月		3	15年		3,000	日本 愛知縣	男	小木曾 公 明治35年 10月11日		7
8	講師	専門 科目 (史)	兼任	愛知縣立 横須賀高等学校	東洋史特殊講義 一部 東洋史演習二部 東洋(ママ)	東京帝国大学 文学部 東洋史学科 昭和12年3月		5		昭和31年4月		日本 愛知縣	男	深谷敏鉄 明治43年 5月15日		8
9	教授	専門 科目 (史)	専任		東洋史特殊講義 二部 東洋史演習一部	京都大学 文学部史学科 昭和6年3月		6	6年		35,300	日本 京都府	男	内藤戊申 明治41年 4月23日		9
10	教授	専門 科目 (史)	兼任	教養部 人文地理	人文地理	京都帝国大学 文学部史学科 大正8年7月		論1	14 [年]		33,900	日本 愛知縣	男	浅若 晁 明治33年 10月30日		10
11	講師	専門 科目 (史)	兼任	名古屋大学 史学地理学	日本考古学	京都帝国大学 大学院 考古学専攻		著3 論1 其他 多数	14年	昭和31年4月		日本 山口県	男	澄田正一 大正4年 2月19日		11
12	講師	専門 科目 (史)	兼任	東京大学 社会史	社会史	東京帝国大学 大学院 大正12年3月			9年			日本 長野縣	男	有賀喜左衛門 明治30年 1月20日		12
13	教授	専門 科目 (史)	兼任	法経学部 国法学 政治思想史 政治学	社会思想史	東京帝国大学 法学部 佛法科 大正11年3月			15年		45,900	日本 長野縣	男	小岩井 淨 明治30年 6月9日		13
14	教授	専門 科目 (史)	兼任	愛知大学 短期大学部 中国哲学史 中国古文講義 文学二部	中国哲学史 中国古文講義	京城帝国大学 法文学部 哲学科 昭和5年3月		著4 論22	20年		39,600	日本 大分縣	男	若山 尚 明治39年 3月20日		14
15	講師		兼任		日本思想史	交		涉		中						15
16	教授	専門 科目 (史)	兼任	文学部 文学一部 国文学概論 国文学特殊講義 国文学講義 国文学史 国文学演習	日本文学史	東京帝国大学 大学院 昭和13年3月		32	16年		35,300	日本 愛知縣	男	久曾神 昇 明治42年 5月31日		16
17	教授	専門 科目 (史)	兼任	文学部 中国語 中国語学講義 中国文学演習	中国語学講義	上海東亜同文 書院 大正7年6月		4	32年		45,900	日本 栃木縣	男	鈴木擇郎 明治31年 6月27日		17

第十 設置者に関する調

一、役員氏名

理事長	本間喜一		
理事	小岩井 浄	監事	神藤 寅吉
全	神野 太郎	全	山本 一二
全	片山 理	顧問	長谷川 萬次郎
全	河合 源三郎	<sup>〔マツ〕</sup>	安倍 能成
全	大林 正志		田中 耕太郎
全	大野 佐長		横田 忍
全	山崎 知二		
全	小幡 清金		
全	玉井 茂		

二、連絡教授会決議録

- 一、日 時 昭和30年8月30日 午後1時
- 一、所 本学会議室
- 一、出席者 本間学長、小岩井法経学部長、山崎文学部長、大内教養部長、小幡、胡麻本、板倉、桑島各教授、細迫助教授

一、議 事

1. 本学文学部に史学科を増設する。

右〔上〕の通り決議した。

昭和30年8月31日

右〔上〕は、連絡教授会議事録記載の通り相違ありません

愛知大学長 本間喜一

〔第十一～十四欠〕

○

## B. 愛知大学文学部哲学科増設認可申請書

1957 (昭和 32) 年 9 月 30 日

〔表紙 (原文縦書き)〕

昭和三十二年九月三十日

愛知大学文学部哲学科増設認可申請書  
学校法人 愛知大学

〔認可書〕

校大第 18 号

昭和 33 年 1 月 10 日

学校法人

愛知大学理事長 殿

文部事務次官

稲 田 清 助 公印

大学学科増設について (通知)

昭和 32 年 9 月 30 日付で申請のあつた愛知大学学科増設のことは、さしつかえないことになりました。

よつて下記事項については、遺漏のないよう実施願います。

記

		入学定員	総定員
1. 増設学科	文学部哲学科	30 名	120 名
2. 位 置	愛知県豊橋市町畑町官有地		
3. 修業年限	4 年		
4. 開設年次	第 1 年次		
5. 開設時期	昭和 33 年度		

6. 留意事項

- (1) 専門図書を年次計画どおり整備すること。
- (2) 専門科目担当の助教授または講師を増強すること。

7. 共通条件

新たに学科 (専攻を含む。) を増設し、又は既設の学部学科 (専攻を含む。) 学生定員を変更しようとする場合は、当分の間文部大臣に協議すること。

以上大学の目的使命を達成するため必要な整備拡充を行うこと。

なお、教員組織、学科履修方法、施設、設備その他について報告を求め、必要がある場合には、文部大臣として審査し、変更を求めることがある。

〔申請書（原文縦書き）〕

## 愛知大学文学部哲学科増設認可申請書

〔この行  
一部削除〕

このたび愛知大学文学部哲学科を増設したいと思いますから学校教育法第  
四条の規定によつて、御認可下さるよう別紙書類を添えて申請致します。

昭和三十二年九月三十日

設置者

学校法人 愛知大学

理事長 小岩井 淨

文部大臣 松永 東 殿

〔目次（原文縦書き）〕

## 書類目次

一、愛知大学文学部哲学科増設要項	1 頁
二、学 則	12 頁
三、校 地（図面添付）	51 頁
四、校舎等建物（図面添付）	52 頁
五、図書標本機械器具等施設概要	58 頁
六、学部及び学科別学科目	113 頁
七、修業年限履修方法及び学士号	117 頁
八、学部及び学科別学生定員	122 頁
九、職員組織	123 頁
十、設置者に関する調	128 頁
十一、資 産	208 頁
十二、維持経営の方法	225 頁
十三、開設年次	256 頁
十四、現在設置している学校の現況	257 頁
十五、将来の計画	312 頁

〔本文（原文縦書き。一部漢数字を算用数字に改変）〕

## 第一 愛知大学文学部哲学科増設要項

- 一、名 称 愛知大学文学部史学科
- 二、位 置 愛知県豊橋市町畑町官有地
- 三、目的及び使命

本学の学則第一条の精神に則り、哲学を研修し、哲学の深遠な学識と高邁なる人格をもって、社会に貢献せんとする人材を養成するため、文学部に哲



学科を増設するものである。(従って文学部の定員を変更する)

四、校 地

総坪数 56,326 坪  
 専 用 56,326 坪  
 共 用 坪

五、校舎等建物

総坪数 7,480 坪  
 専 用 7,480 坪  
 共 用 坪

六、図書標本機械器具等施設概要

(其の他未整理 25,000 冊)

図 書 総 数 129,991 冊 (研究所 10,000 冊)  
 専 用 129,991 冊 ( " )  
 共 用

(雑誌 787 種あり)

図 書 総 数 17,545 冊 (種を含む)  
 専 用 17,545 冊 ( " )  
 共 用

機械器具 総 数  
 専 用 8,582 点  
 共 用 8,582 点

七、学部及び学科の組織並に附属施設

文 学 部 哲 学 科

参考 (現在設置せる学部及び学科組織)

法経学部 第一部 法学科  
 経済学科  
 法経学部 第二部 法学科  
 経済学科  
 文学部 社会学科  
 文学科  
 史学科

附属施設

図書館

鉄筋書庫 200 坪、閲覧室 75 坪、その他 150 坪、計 425 坪、蔵書 150,000 万<sup>[27]</sup>冊 (内漢籍 20,000 冊) (閲覧室は開架式書架を設置す) 又名古屋〔車道〕校舎に鉄筋約 100 坪の図書館分館あり。

研究所 省略 第十六  
 華日辞典編纂処 省略 参照

## 八、学部及び学科別科目又は講座概要並に教職課程の有無

## 一般教育科目（文学部各学科共通）

科 目	単位数	備 考
人文科学関係		
哲 学	4	哲学史を含む
倫 理 学	4	
論 理 学	4	
歴史一部	4	
〃 二部	4	
〃 三部	4	
人文地理学	4	
文学一部	4	
〃 二部	4	
社会科学関係		
社会科学概論	4	
法 学	4	憲法2単位を含む
政 治 学	4	
経 済 学	4	
社 会 学	4	
自然科学関係		
自然科学概論	4	物理学を含む
数 学	4	
生 物 学	4	
化 学	4	

## 外 国 語（文学部各学科共通）

外国語一部	12	
〃 二部	12	

## 体 育（文学部各学科共通）

体育講義	2	
体育実技	2	

## 備 考

- 一般教育科目については、人文科学関係、社会科学関係及び自然科学関係の3系列に亘って、夫々3科目12単位以上合計9科目36単位以上を履修する。
- 外国語については、文学部は一部、二部合わせて2ヶ国語24単位以上を履修する。
- 体育は2科目4単位を履修する。



專門科目

必修科目

学 科 目	单位数	備 考
哲学概論	4	
論理学及認識論	4	
西洋哲学史	4	
東洋哲学史	4	
哲学演習及講読一部	4	
全 二部	4	
全 三部	4	
哲学特殊講義一部	4	
全 二部	4	
全 三部	4	
全 三部	4	
卒業論文	8	
計	48	

選択科目

学 科 目	单位数	備 考
倫理学概論	4	
心理学概論	4	
社会学概論	4	
宗教学概論	4	
美学概論	4	
法 哲 学	4	
法思想史	4	
政治思想史	4	
社会思想史	4	
印度哲学	4	
芸 術 史	4	
民 族 学	4	
古 典 学	4	
文学概論	4	
科学概論及科学史	4	
社会心理学	4	
産業心理学	2	
精神医学	2	
計	68	

(2科目削除)

(訂正)

(同)

(專門科目合計)

(116)



備 考

- 必修科目は卒業論文を含め9科目48単位を履修するものとする。
- 選択科目は5科目20単位以上を履修するものとする。

教職課程 有り(爾後申請する)

九、修業年限、履修方法及び学士号

修業年限は4ヶ年以上とする。

履修方法については、第1年次、第2年次に主として一般教育科目、外国語、体育を課する外に第2年次から専門科目の一部を課し逐次之を増加する(但し一般教育科目、外国語、体育等の取得単位数は一定数に達しない場合は専門科目を履修させない事を内規としている。)

学士号については、4年以上在学し規定の単位数を取得したる者に学士の称号を称することができることとする。

一〇、職員組織〔原文を組み替え〕

専任教員(哲学科)

学 長	1名
教 授	4名(但し中1名は昭和34年度より就任)
助 教 授	1名
講 師	
助 手	3名
計	9名

左〔下〕表参照〔原文を組み替え〕

		学 長	教 員	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	技 術 員	事 務 員	そ の 他	合 計
専 任	第1年次	(1) 1		(3) 3	(1) 1			3	2	95	30	(135)
	第2年次	(1) 1		(4) 4	(1) 1			他学部・学科と共通人〔数〕				(136)
	第3年次	(1) 1		(4) 4	(1) 1	未定(2)						(136)
	第4年次	(1) 1		(4) 4	(1) 1							(136)
	計	(1) (1)		(4)	(1)							
兼 担	第1年次			(5) 9	(1) 2							(6)
	第2年次			(5) 15	(1) 2							(6)
	第3年次			(5) 16	(1) 2							(6)
	第4年次			(5) 16	(1) 2							(6)
	計			(5)	(1)							
兼 任	第1年次					(6) 6						(6)
	第2年次					(12) 12						(12)
	第3年次					(12) 12						(12)
	第4年次					(12) 12						(12)
	計					(12)						(12)
計	第1年次	(1)		(8)	(2)	(6)		3	2	95	30	(147)
	第2年次			(9)	(2)	(12)		他学部・学科と共通人〔数〕				(153)
	第3年次			(9)	(2)	(12)						(153)
	第4年次			(9)	(2)	(12)						(153)
	計	(1)		(9)	(2)	(12)		(3)	(2)	(95)	(30)	(153)

註 ( ) 内は実数



(備考)

既設の文学部他学科の教員組織については、添附書第九の三参照

既設の法経学部各学科の教員組織については、第十四の三参照

十一、学部及び学科別学生入学定員、総定員

文学部	哲学科	定員	30名
		総定員	120名

(備考) 現行定員                      定員              総定員

法経学部第一部	法学科	200名	800名
	経済学科	100名	400名

法経学部第二部	法学科	40名	160名	名古屋
	経済学科	40名	160名	校舎

文学部	社会学科	40名	160名
	文学科	70名	280名
	史学科	40名	160名

十二、設置者

学校法人 愛知大学

理事長              小岩井 淨

十三、維持経営の方法概要

主として学生の入学金、授業料、受験料、寄附金等により維持経営する。其  
の他詳細については、既設置の文学部他学科等及び既設学部と同じ

十四、文学部哲学科開設の時期

昭和33年4月

十五、開設年次

(訂正)

第一、年次

現在本校の教養課程の学生を転科進学させる。

原則として他校よりの転入学は認めない。

十六、併設学校、附置研究所の概要

併設学校

豊橋本校

短期大学部(夜間)

定員	法経科	120名	文科	40名
----	-----	------	----	-----

施設図書館等については学部と共用

大学院

定員	法学研究科	公法学専攻	15名
----	-------	-------	-----

		私法学専攻	15名
--	--	-------	-----

	経済学研究科	経済学専攻	25名
--	--------	-------	-----

## 附置研究所

## 国際問題研究所

アジアを中心とする国際社会における政治経済、社会文化の研究調査を目的とする

中国印度、東南アジア諸国、ソ<sup>(ママ)</sup>同盟及東欧諸国、西欧諸国及アメリカの四部門に分る

## 中部地方産業研究所

中部地方における産業について社会科学の立場より研究する

## 総合郷土研究所

中部地方を中心とする総合的郷土の研究

## 華日辞典編纂処

1954年、中国保衛世界和平委員会劉貴一氏より、日本人民に寄贈された華日辞典原稿14万枚（旧東亜同文書院大学にて作成されたもの）を基礎とした華日辞典の編纂発行は1961年の予定である（明年小辞典を発行）

附属図書館については別項の様

其の他省略

（備考）

名古屋校舎は法経学〔部〕第2部設置、省略

## 第二 学 則

## 第一章 総 則

第一条 本大学は学校教育法第五十二条の趣旨に依り高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもつて人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。

## 第二章 学 部

## 第一節 学部学科の組織

第二条 本大学に次の学部及び学科を置く。

法経学部第1部 法 学 科  
経済学科

法経学部第2部 法 学 科  
経済学科

文 学 部 社会学科  
文 学 科  
史 学 科  
哲 学 科

第三条 各学部の修業年限を4年以上とする。

## 第二節 学 科 課 程



第四条 各学部の学科目及び単位数は別紙の通りである。

なお別表以外に教授会の議を経て随意科目の講義を行うことができる。

第三節 履修方法及び課程修了の認定

第五条 第1年次・第2年次に主として一般教育科目・外国語・体育を課する外に第1年次から専門科目の一部を課し逐次之を増加する。

第六条 学生所属の学科により夫々次の学科目を履修し、その単位を取得しなければならない。

一、一般教育科目（各学部各学科共通）

人文科学関係・社会科学関係及び自然科学関係の3系列に亘って夫々3科目12単位以上合計9科目36単位以上。

二、外国語

法経学部 第1部 1部12単位、2部6単位合計2ヶ国語18単位以上

法経学部 第2部 1部8単位、2部6単位合計2ヶ国語14単位以上

文学部 1部2部各12単位合計2ヶ国語24単位以上

三、専門科学<sup>[77]</sup>

法経学部 第1部 法学科〔略〕

経済学科〔略〕

法経学部 第2部 法学科〔略〕

経済学科〔略〕

文学部 社会学科 必修 8科目40単位以上

選択 5科目20単位以上

卒業論文（必修） 8単位

文学科

国文学専攻

必修 9科目40単位以上

選択 5科目20単位以上

卒業論文（必修） 8単位

中国文学専攻

必修 10科目40単位以上

選択 5科目20単位以上

卒業論文（必修） 8単位

英文学専攻

必修 10科目40単位以上

選択 5科目20単位以上

卒業論文（必修） 8単位

ドイツ文学専攻

必修 10科目40単位以上

選択 5科目20単位以上

卒業論文（必修） 8単位

## フランス文学専攻

必 修	10 科目 40 単位以上
選 択	5 科目 20 単位以上
卒業論文 (必修)	8 単位

## 史 学 科

## 日本史を主とするもの

必 修	11 科目 40 単位以上
選 択	5 科目 20 単位以上
卒業論文 (必修)	8 単位

## 東洋史を主とするもの

必 修	11 科目 40 単位以上
選 択	5 科目 20 単位以上
卒業論文 (必修)	8 単位

## 哲 学 科

必 修	10 科目 40 単位以上
選 択	5 科目 20 単位以上
卒業論文 (必修)	8 単位

## 四、体 育

(各学部各学科共通) 4 単位

## 合 計

法経学部 第1部	134 単位以上
法経学部 第2部	126 単位以上
文学部	132 単位以上

なお教員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、教育職員免許法の規定によって所定の学科目を履修し次の単位数を取得しなければならない。

教職に関する専門科目は	14 単位以上
教科に関する専門科目は	40 単位以上

第七条〔第十条まで略〕

## 第四節 卒業及び学士の称号

第十一条〔略〕

## 第五節 入学・転学・退学及び休学

第十二条〔第二十五条まで略〕

## 第六節 学 資

第二十六条〔第二十八条まで略〕

## 第三章 職員並びに学生

## 第一節 職 員

第二十九条〔第三十条まで略〕

## 第二節 教 授 等

第三十一条〔第三十三条まで略〕



第三節 学生定員

第三十四条 学部 of 学生定員は次の通りである。

			入学定員	総定員
法経学部 第1部	法 学 科		200名	800名
	経済学科		100名	400名
法経学部 第2部	法 学 科		40名	160名
	経済学科		40名	160名
文 学 部	社会学科		40名	160名
	文 学 科		70名	280名
	史 学 科		40名	160名
	哲 学 科		30名	120名

第四章 図書館及び研究所

第三十五条〔第三十六条まで略〕

第五章 専攻科

第三十七条〔第四十四条まで略〕

第六章 聴講生及び外国学生

第四十五条〔第五十条まで略〕

第七章 公開講座

第五十一条〔略〕

第八章 学年、学期及休業日

第五十二条〔第五十四条まで略〕

第九章 寄宿寮及び厚生保健施設

第五十五条〔第五十六条まで略〕

第十章 賞 罰

第五十八条〔中略〕

二、本学則は昭和31年4月1日より之を施行する。

法経学部第1部

文 学 部 学科別学科目表

一般教育科目（各学部各学科共通）

学 科 目	単位数	備 考
人文科学関係		
哲 学	4	哲学史を含む
倫 理 学	4	
論 理 学	4	
歴 史	4	
人文地理学	4	
文 学	4	

学 科 目	単位数	備 考
社会科学関係		
社会科学概論	4	憲法2単位を含む
法 学	4	
政 治 学	4	
経 済 学	4	
社 会 学	4	
自然科学関係		
自然科学概論	4	物理学を含む
数 学	4	
生 物 学	4	
化 学	4	

外 国 語 (法経学部第1部)

学 科 目	単位数	備 考
外国語一部	12	
外国語二部	6	

外 国 語 (文学部)

学 科 目	単位数	備 考
外国語一部	12	
外国語二部	12	

体 育 各学部各学科共通

学 科 目	単位数	備 考
体育講義	2	
体育実技	2	

備 考

- 一般教育科目については、人文科学関係、社会科学関係及び自然科学関係の三系列に亘って、夫々3科目12単位以上合計94〔科〕目36単位以上を履修する。
- 外国語については法経学部第1部は1部2部合わせて2カ国語18単位以上、文学部は1部2部合わせて2カ国語24単位以上を履修する。
- 体育は2科目4単位を履修する。

法経学部第1部法学科

専門科目〔略〕

選択科目〔略〕

備 考〔略〕



法経学部経済学科

専門科目〔略〕

選択科目〔略〕

備考〔略〕

文学部 社会学科

専門科目

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
社会学概論	4	
社会学史	4	
社会学特殊講義	8	
社会学演習	8	
社会調査	4	
教育社会学	4	
社会心理学	4	
社会人類学	4	
卒業論文	8	
選択科目		
哲 学	4	
哲学史	4	
中国哲学史	4	
倫 理 学	4	
宗 教 学	4	
教 育 学	4	
新 聞 学	4	
統 計 学	4	
社会事業論	4	
社会教育論	4	
社会政策	4	
社会思想史	4	
社 会 史	4	
外 国 史	4	
言 語 学	4	
考 古 学	4	
人文地理学	4	

備 考

- 必修科目は卒業論文を含め9科目48単位を履修する。
- 選択科目については5科目20単位以上を履修する。



## 文学部 文学科

## 専門科目

## 国文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
国文学概論	4	
国文学史	4	
国文学特殊講義	4	
国文学講読	8	
国語学概論	4	
国文学演習	4	
国語学史	4	
文学概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

## 中国文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
中国文学概論	4	
中国文学特殊講義	4	
中国古文講読	4	
中国文学演習	4	
中国語学概論	4	
中国語学講読	4	
中国哲学史	4	
文学概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

## 英文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
英文学概論	4	
英文学史	4	
英文学特殊講義	4	
英文学講読	4	
英文学演習	4	
英語学概論	4	
英語史	4	
英文法概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

ドイツ文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
ドイツ文学概論	4	
ドイツ文学史	4	
ドイツ文学講読	4	
ドイツ文学演習	4	
ドイツ文学特殊講義	4	
ドイツ語学概論	4	
ドイツ語史	4	
ドイツ語学講読	4	
文学概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

フランス文学専攻

学 科 目	単位数	備 考
必修科目		
フランス文学概論	4	
フランス文学史	4	
フランス文学特殊講義	4	
フランス文学講読	4	
フランス文学演習	4	
フランス語学概論	4	
フランス語史	4	
フランス語学講読	4	
文学概論	4	
言語学概論	4	
卒業論文	8	

選択科目（文学科各専攻共通）

学 科 目	単位数	備 考
哲 学	4	
哲 学 史	4	
中国哲学史	4	
宗 教 学	4	
外 国 史	4	
芸 術 史	4	
考 古 学	4	
現代文学論	4	

学 科 目	単位数	備 考
現代詩論	4	
映画演劇論	4	
ロシア文学	4	
新聞学	4	
図書館学	4	
教育社会学	4	

## 備 考

- 必修科目は卒業論文を含め9科目又は10科目48単位を履修する。  
選択科目は、5科目20単位以上を履修する。
- なお他専攻必修科目をも選択科目として履修することができる。

## 文学部 史学科

## 専門科目

## 必修科目A系列

学 科 目	単位数	備 考
史学概論	4	
日本史概説	4	
東洋史概説	4	
西洋史概説	4	
世界史	4	
考古学概説	4	
卒業論文	8	

## 必修科目B系列（日本史を主とするもの）

学 科 目	単位数	備 考
日本史特殊講義一部	4	
同 二部	4	
同 三部	4	
日本史演習及講読一部	2	
同 二部	2	

## 必修科目C系列（東洋史を主とするもの）

学 科 目	単位数	備 考
東洋史特殊講義一部	4	
同 二部	4	
同 三部	4	
東洋史演習及講読一部	2	
同 二部	2	

選択科目

学 科 目	単位数	備 考
人文地理学	4	
日本考古学	4	
東洋考古学	4	
社 会 史	4	
社会思想史	4	
中国哲学史	4	
日本思想史	4	
日本文学史	4	
中国語学概説	4	
中国古文講読	4	

備 考

- 必修科目中、日本史を主とするものはA・B系列を、東洋史を主とするものは、A・C系列を夫々12科目48単位を履修すべきものとする。  
 選択科目中、5科目20単位以上を履修するものとする。

文学部 哲学科

専門科目

学 科 目	単位数	備 考
必修科目	4	
哲学概論	4	
論理学及認識論	4	
西洋哲学史	4	
東洋哲学史	4	
哲学講習及講読一部	4	
全 二部	4	
全 三部	4	
哲学特殊講義一部	4	
全 二部	4	
全 三部	4	
卒業論文	8	
選 択 科 目		
倫理学概論	4	
心理学概論	4	
社会学概論	4	

学 科 目	単位数	備 考
宗教学概論	4	
美学概論	4	
法 哲 学	4	
法思想史	4	
政治思想史	4	
社会思想史	4	
印度哲学	4	
芸 術 史	4	
民 族 学	4	
古 典 学	4	
文学概論	4	
科学概論及科学史	4	
社会心理学	4	
産業心理学	2	
精神医学	2	

(2科目  
分抹消)

## 教職に関する専門科目

(法経学部第1部 文学部共通)

必 修 科 目	単位数	備 考
教育心理学	3	
青年心理学	3	
教育原理	3	
教科教育法	3	
教育実習	3	
教 育 史	4	
教育社会学	4	
図書館学	4	
社会教育論	4	
児童心理学	4	

## 備 考

- 教員免許状を取得しようとするものは、教職に関する専門科目については14単位以上、教科に関する専門科目について40単位以上履修するものとする。但し教科に関する専門科目については既に履修せる各科の専門科目の取得せる単位数を充てる

〔以下欠カ〕

第五 図書標本機械器具等施設概要

一ノ一 図書

種別	専用	共用	計	内 訳		備考
				内国書	外国書	
一般教育科目						
人文科学関係	6,199		6,199	4,478	1,721	
社会科学関係	4,028		4,028	2,788	1,240	
自然科学関係	2,742		2,742	2,322	420	
計	12,969		12,969	9,588	3,381	
外国語	12,640		12,640	6,029	6,611	
保健体育	852		852	707	145	
計	13,492		13,492	6,736	6,756	
専門図書						
法経学部						
法学科	26,520		26,520	23,510	3,010	
経済学科	28,098		28,098	24,277	3,821	
文学部						
社会学科	16,605		16,605	15,037	1,568	
文学科	18,616		18,616	16,597	2,019	
史学科	8,973		8,973	7,571	1,402	
哲学科	4,721		4,721	4,254	467	
計	103,533		103,533	91,246	12,287	
総計	129,994		129,994	107,570	22,424	

〔一部改訂〕 其の他に未整理分約 2,500 冊及研究所等の分約 10,000 冊在り

学術雑誌					
法経学部	477 種		477 種	373 種	104 種
文学部	310 種		310 種	191 種	119 種
計	787 種		787 種	564 種	223 種

其の他に研究所等に雑誌 100 種程度あり

第六 学部及学科別学科目又は講座

〔貼付改訂〕

学部	学科	学科目又は講座	年次及び単位数					備考
			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	計	
文学部	各学科 (共通)	一般教育科目						
		人文科学関係						
		哲学	4	4	4	4	16	
		倫理学	4	4	4	4	16	
		論理学	4	4	4	4	16	
		歴史一部	4	4	4	4	16	
		" 二部	4	4	4	4	16	
		" 三部	4	4	4	4	16	
		人文地理学	4	4	4	4	16	
		文学一部	4	4	4	4	16	
" 二部	4	4	4	4	16			

(貼付改訂)	学部	学科	学科目又は講座	年次及び単位数					備 考
				第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	計	
			社会科学関係						
			社会科学概論	4	4	4	4	16	
			法 学	4	4	4	4	16	
			政 治 学	4	4	4	4	16	
			経 済 学	4	4	4	4	16	
			社 会 学	4	4	4	4	16	
			自然科学関係						
			自然科学概論	4	4	4	4	16	
			数 学	4	4	4	4	16	
			生 物 学	4	4	4	4	16	
			化 学	4	4	4	4	16	
			計	72	72	72	72	72	
			外国語(文学部)						
			外国語一部	6	6	6	6	24	
			” 二部	6	6	6	6	24	
			(4ヶ国語)						
			計	12	12	12	12	48	
			体 育						
			体育講義	2	2	2	2	8	
			体育実技	2	2	2	2	8	
			計	4	4	4	4	16	
文学部	哲学科		専門科目						
			必修科目						
			哲学概論		4	4	4	12	
			論理学及認識論		4	4	4	12	
			西洋哲学史	4	4	4	4	16	
			東洋哲学史	4	4	4	4	16	
			哲学演習及講読一部		4	4	4	12	
			” 二部	4	4	4	4	16	
			” 三部		4	4	4	12	
			哲学特殊講義一部	4	4	4	4	16	
			” 二部		4	4	4	12	
			” 三部		4	4	4	12	
			卒業論文			8	8	16	
			選択科目						
			倫理学概論	4	4	4	4	16	
			心理学概論	4	4	4	4	16	
			社会学概論	4	4	4	4	16	
			宗教学概論	4	4	4	4	16	
			美学概論		4		4	8	
			法 哲 学	4	4	4	4	16	
			法 思 想 史	4	4	4	4	16	



〔貼付改訂〕	学部	学科	学科目又は講座	年次及び単位数					備考
				第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	計	
〔2行抹消〕			政治思想史	4	4	4	4	16	
			社会思想史	4	4	4	4	16	
			印度哲学		4		4	8	
			芸術史		4	4	4	12	
			民族学		4		4	8	
			古典学		4	4	4	12	
			文学概論	4	4	4	4	16	
			科学概論及科学史			4	4	8	
			社会心理学	4	4	4	4	16	
			産業心理学		2	2	2	6	
〔以下数値一部改訂〕			精神医学	2		2		4	
			計	58	102	104	114	378	
			合計	146	190	192	202	730	

備考

文学部哲学科の教職課程については爾後申請する。

文学部既設の学科には既に教職課程あり。

#### 第七 修業年限履修方法及学士号

一、修業年限 四年以上

二、履修方法 (各学部共通)

一般教育科目の外に第二年次から専門科目を履修せしめ、逐次これを増加する。

(但し一般教育、外国語、体育の取得単位数が一定数に達しない場合は専門科目を履修させないことがある。)

三、学士号

学則第二章第四節第十一条に示す通り

四ヶ年以上在学し所定の学科目を履修して第六条所定の単位数を取得した者は卒業とし、卒業証書を授与する。〔以下書込み〕本学を卒業した者はその履修した課程に従い次の通り学士と称することができる

法経学部 第一部 法学科 法学士

第二部

法経学部 第一部 経済学科 経済学士

第二部

文学部

文学士

右〔上〕により文学部哲学科の場合も右〔上〕と同様とする。



## 四、内 訳

学部	学科	学科目又は講座	必修 単位数	選択 単位数	備 考	
文学部	各学科 (共通)	一般教育科目				
		人文科学関係				
		哲 学	4		一般教育科目については、人文科学〔、〕社会学、自然科学の三系列（哲学史を含む）に亘つて夫々3科目12単位以上合計9科目36単位以上履修する。	
		倫 理 学	4			
		論 理 学	4			
		歴史一部	4			
		〃 二部	4			
		〃 三部	4			
		人文地理学	4			
		文学一部	4			
		二部	4			
		社会科学関係				
		社会科学概論	4			(憲法2単位を含む)
		法 学	4			
		政 治 学	4			
		経 済 学	4			
		社 会 学	4		(物理学を含む)	
		自然科学概論	4			
		数 学	4			
		生 物 学	4			
		化 学	4			
		計	72			
		外国語（文学部）				外国語については文学部は一部、二部合わせて二ヶ国語24単位以上を履修する。
外国語一部	12					
二部	12					
計	24					
体 育				体育は二科目4単位を履修する		
体育講義	2					
体育実技	2					
計	4					
文学部	哲学科	専門科目			専門科目については必修科目は卒業論文を含め九科目48単位、選択科目は五科目20単位以上履修する。	
		〔必修〕 哲学概論	4			
		論理学及認識論	4			
		西洋哲学史	4			
		東洋哲学史	4			
		哲学演習及講読一部	4			
		〃 二部	4			
〃 三部	4					



学部	学科	学科目又は講座	必修 単位数	選択 単位数	備 考
		哲学特殊講義一部	4		
		〃 二部	4		
		〃 三部	4		
		卒業論文	8		
		(選択) 倫理学概論		4	
		心理学概論		4	
		社会学概論		4	
		宗教学概論		4	
		美学概論		4	
		法 哲 学		4	
		法思想史		4	
		政治思想史		4	
		社会思想史		4	
		印度哲学		4	
		芸 術 史		4	
		民 族 学		4	
		古 典 学		4	
		文学概論		4	
		科学概論及科学史		4	
		社会心理学		4	
		産業心理学		2	
		精神医学		2	
		計	48	68	
		合 計	148	68	

〔2行抹消〕

〔以下数値  
一部改訂〕

備 考

文学部哲学科の教職課程については爾後申請する。

文学部既設の学科には既に教職課程あり。

第八 学部及学科別定員

一、学部学科別学生定員及総定員

			入学定員	総定員	
法経学部	第一部	法 学 科	200 名	800 名	
		経済学部 <sup>(37)</sup>	100	400	
		法 学 科	40	160	名古屋
		経済学科	40	160	校舎のみ
	〔文学部〕	社会学科	40	160	
		文 学 科	70	280	
		史 学 科	40	160	
		哲 学 科	30	120	(豊橋校舎に 新設せんとする)

第九 職員組織

(一) 職員総括表 (哲学科)

	専任					兼担					兼任					計					
	第一年次	第二年次	第三年次	第四年次	計	第一年次	第二年次	第三年次	第四年次	計	第一年次	第二年次	第三年次	第四年次	計	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	計	
学長	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)											(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
教員																					
教授	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)	(5)	(15)	(16)	(16)	(5)						(8)	(9)	(9)	(9)	(9)	
助教授	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(1)						(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
講師			未定	(2)							(6)	(12)	(12)	(12)	(12)	(6)	(12)	(12)	(12)	(12)	
計																					
助手	(3)				(3)											(3)				(3)	
技術員	(2)				(2)											(2)				(2)	
事務員	(95)	他学部学科(と)共通人				(95)										(95)	他学部学科と共通人				(95)
その他	(30)				(30)											(30)				(30)	
合計	(135)	(136)	(136)	(136)	(136)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(12)	(12)	(12)	(12)	(147)	(153)	(153)	(153)	(153)	

(註) ( ) 内は実数

二、学部及学科別教員

学部	学科	学科目	教授				助教授				助手				講師				計	備考			
			専任	兼担	兼任	計	専任	兼担	兼任	計	専任	兼担	兼任	計	専任	兼担	兼任	計					
文学部	各学科 (共通)	一般教育科目																					
		人文科学関係																					
		哲学							1				1									1	
		倫理学	1			1											1					2	
		論理学															1					2	
		歴史一部			1		1								1							2	
		〃 二部												2	2		1					3	
		〃 三部								1			1									1	
		人文地理学	1				1										1					2	
		文学一部	1	2		3											1					4	
		二部		1		1																1	
		社会科学関係																					
		社会科学概論			1		1										1						2
		法学						1(マ)	1				1	1			1						3
		政治学			1		1										1						2
		経済学	1	1		2											1						3
		社会学								1			1	1			1						3
		自然科学関係																					
		自然科学概論			1		1							1			1						(2)
		数学												1			1						2
生物学	1				1										1						2		
化学	1				1										1						2		
		計	6	8		14			5		5	4		2	6	4	10			14	39		
		外国語																					
		外国語一部	2			2	3			3	5		3	8									
		〃 二部		7		7	2	3		5	3	1	7	11									
		計	2	7		9	5	3		8	8	1	10	19								36	
		体育																					
		体育講義	1			1						2		2		1				1	4		
		体育実技				1						2		2		1				1	4		
		計	1	1		2					2	2		4	1	1				2	8		

学部	学科	学科目	教授				助教授				助手				講師				計	備考			
			専任	兼担	兼任	計	専任	兼担	兼任	計	専任	兼担	兼任	計	専任	兼担	兼任	計					
文学部	哲学科	専門科目																					
		必修科目																					
		哲学概論	1			1																1	
		倫理学及認識論		1		1																1	
		西洋哲学史	1	1		2																2	
		東洋哲学史	2			2																2	
		哲学演習及講義一部		1		1																1	
		” 二部		1		1																1	
		” 三部						1			1				1	1						2	
		哲学特設講義一部		1		1			1		1											2	
		” 二部													1	1						1	
		” 三部		2		2																2	
		卒業論文																					
		選択科目																					
		倫理学概論													1	1						1	
		心理学概論													1	1						1	
		社会学概論		1		1																1	
		宗教学概論		1		1																1	
		美学概論													1	1						1	
		法哲学		1		1																1	
		法思想史													1	1						1	
		政治思想史		1		1																1	
		社会思想史		1		1																1	
		印度哲学		1		1																1	
		芸術史													2	2						2	
		民族学													1	1						1	
		教育学		1		1																1	
		新聞学		1		1																1	
		古典学								1		1										1	
		文学概論													1	1						1	
		科学概論及科学史																				1(77)	
		社会心理学													1	1						1	
産業心理学													1	1						1			
精神医学													1	1						1			
		計	4	15		17	1	2		3			13	13						33			
		合計	13	31		44	6	10		16	14	3	25	42		5	11		16	118			

備 考

文学部哲学科の教職課程については爾後申請する。

文学部既設の学科には既に教職課程あり。

〔書込み〕

科学概論及科学史の担当者はおって選考の上決定する

(三) 別 冊

(四) 別 冊

第十 設置者に関する調

一、役員氏名

理 事 長 小 岩 井 淨

理 事 小 幡 清 金

監	事	彦	坂	只	一		
	全	本	間	喜	一		
顧	問	本	間	喜	一		
	全	神	野	太	郎		
	全	長	谷	川	万	次	郎
	全	片	山		理		
	全	安	部	能	成		
	全	河	合	源	三	郎	
	全	田	中	耕	太	郎	
	全	大	野	佐	長		
	全	大	林	正	志		
	全	山	崎	知	二		
	全	玉	井		茂		

二、理事会決議録（写）

昭和 32 年 8 月 31 日午前 11 時本学会議室に於て理事会を召集し、小岩井理事長、神野、片山、河合、大野、大林、山崎、小幡、松本、各理事出席左〔下〕の通り決議した。

記

豊橋校舎に文学部哲学科を増設する

開設の時期は昭和 33 年 4 月とする

昭和 32 年 8 月 31 日

理 事 長 小 岩 井 淨

第十一、十二〔欠〕

第十三 開設年次

- 開設年度（昭和 33 年度）において、第一、二年次を開講する。